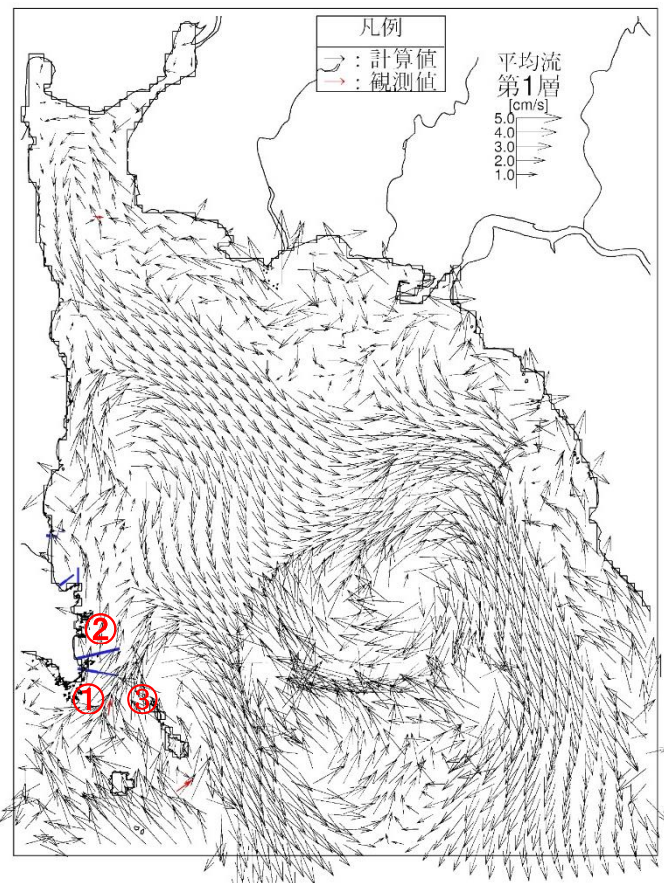
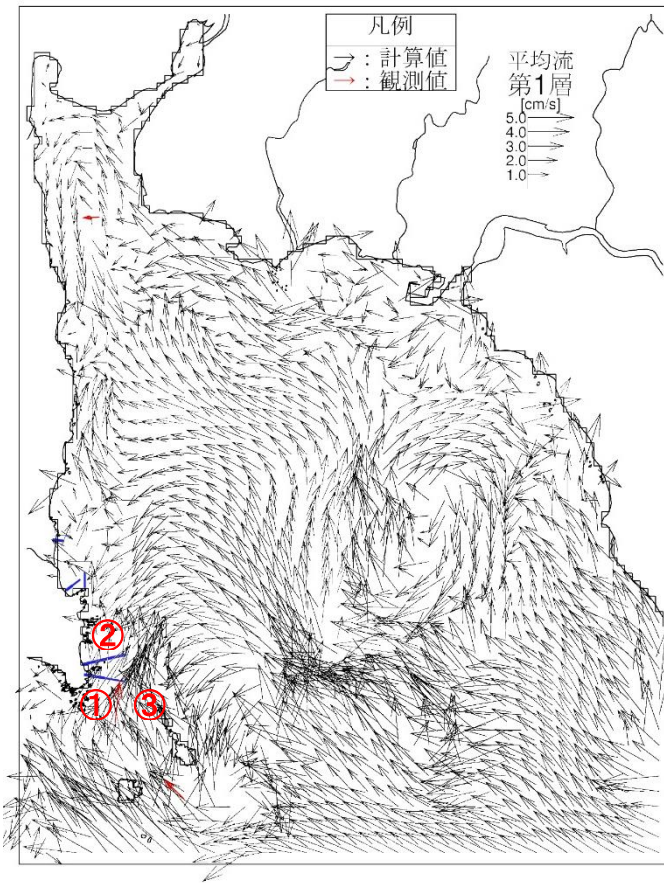


2.7.6 仮設棧橋等の設置に伴う流れの変化について

- ・評価書における流れ（水象）の予測結果によれば、仮設棧橋等が設置されるキャンプ・シュワブの東側沿岸部の流れは、辺野古崎と長島の間で南北方向の往復流がみられる場所であり、恒流（平均流）はリーフエッジでの碎波によって生じる海浜流の影響で、大浦湾奥部に向かう流れとなっている。
- ・代替施設等の存在に伴う流速変化を踏まえると、仮設棧橋等の設置に伴い想定される恒流（平均流）の変化は、以下のとおりと考えられる。
- ・仮設棧橋①の南側（図中の①）や仮設岸壁の周辺（図中の②）では、湾奥部に向かう流れが遮られるため、流速の減少域が生じると考えられる。
- ・①における流れの変化に伴い、仮設棧橋①と長島の間（図中の③）では、流れの収束域が生じ、流速の増加域が生じると考えられる。



夏季（評価書p. 6-9-130）



冬季（評価書p. 6-9-136）

大浦湾における恒流（平均流）ベクトル図（第1層 [0~2m]）と仮設棧橋等の設置位置
注）図中の①～③は仮設棧橋等の設置に伴い恒流（平均流）の変化が想定される海域